

第9回アートセミナー開催のお知らせ

木枯らしが吹く季節となってまいりました。

さて照明家にとって知っておかなければならない、芸術の部分についての研修会が必要で有るという事で、始まったアートセミナーは、これまで、ミュージカルやバレエ、日本舞踊など舞台上で上演されるものの、専門家から改めてその本当の姿について講演していただきました。

今回は関西だけでなく全国で活躍されている照明デザイナー原中治美氏・松浦真也氏をお迎えしてお話をお聞き、する事となりました。オペラ・バレエ等で照明デザイナーが何を考え、どんな仕事をしているのかについて、講演していただきます。皆様、ふるって御参加下さい。

第9回アートセミナー

テーマ：“デザイナーの頭の中と手順見せます。”

講師：原中 治美氏 松浦 真也氏

日時：平成30年1月23日(火)

受付13:15 セミナー13:30～16:45

懇談会17:30～19:00(会場近隣の飲食店に移動)

会場：エル・おおさか(大阪府立労働センター) 5階 研修室2

交通：地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

参加費：無料

懇談会：参加費は1,000円程度を予定、未成年の方はご遠慮ください。

お申し込みは、下記の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の(公社)日本照明家協会関西支部事務局まで、EメールまたはFAXでご送付ください。〆切は1月9日(火)とさせていただきます。

E-mail:kansai-shibu@ldeaj.or.jp FAX:050-1456-3773

なお、お申し込みの受理等の確認は行っておりませんので、予めご了承ください。お早めにお申し込みください。

原中 治美氏 プロフィール

神奈川大学貿易学科を卒業後に照明の世界に入り、その後関西で地道な仕事が認められ、現在は主にバレエ・オペラの作品に照明プランナーとして参加する。

1995年に関西歌劇団「リゴレット」で、(社)日本照明家協会優秀賞を受賞。

1999年に在イタリア日本総領事館後援の「夕鶴」公演での照明がイタリアのAs・Li・Coに認められて照明プランの依頼を受け、2001年10月フランキーニ歌劇場他6歌劇場に於いて「蝶々夫人」を15公演行う。そのほかの海外でのオペラ公演にもプランナーとして参加し、好評を得る。加えてクラシックバレエ・コンテンポラリーダンス等の照明プランは、豊かな感性で創る明かりが振付家に好評であり信頼が厚い。

松浦 真也氏 プロフィール

大阪芸術大学放送学科卒業後、豊中市市民会館にて10年間勤務。その後、足立恒氏に師事。

1997年に「ライティングデザイン ブルーブ」設立後、関西を中心にクラシックバレエ、コンテンポラリーダンス等のデザインを手掛ける。近年では深川秀夫氏、石井潤氏、島崎徹氏、などの著名な振付家との出会いによる各バレエ団公演の実績が認められ、名古屋、高知、札幌からデザインを依頼される。

ベルギー王立ロイヤル・フランダース・バレエ団、台湾国立台北芸術大学での公演の経験をいかし、照明デザイナーの地位向上と普及に務める。

2011年松岡伶子バレエ団アトリエ公演「カルミナ・ブラーナ」にて、日本照明家協会協会賞審査委員最優秀賞を受賞。

第9回アートセミナー 申込書

平成30年1月23日開催のアートセミナーに参加します。

ご氏名	ご所属	ご連絡先	懇談会ご参加	会員
			○ ・ ×	会員 / 非会員
			○ ・ ×	会員 / 非会員
			○ ・ ×	会員 / 非会員
			○ ・ ×	会員 / 非会員
			○ ・ ×	会員 / 非会員

追加情報は当協会ホームページ(<http://www.jaled.or.jp/index.php>)にて、お知らせいたします。
関西支部へのEメールは、当協会ホームページからも簡単にご送信いただけます。